

アスリートによる講演と実技体験

実施学校名 多摩市立大松台小学校

日時 令和7年6月25日（水）

場所 体育館

プログラム概要



- ・東京2020大会体操女子個人総合において、これまでの日本代表選手の中で最高順位となる5位に入賞し、さらに、個人種目別「ゆか」では日本女子で史上初の銅メダルを獲得した村上茉愛氏を講師に迎え、講話、実技披露、マット運動を中心とした実技体験等を実施しました。
- ・プログラム終了後、児童は、講師がオリンピックや世界選手権で獲得したメダルを間近で見ると、貴重な経験をしました。

体験風景

1 | 講話 ～夢の実現に向けて



4歳で体操を始めた講師が、6年生の時に全国大会で初めて優勝したときのエピソードが紹介されました。演技前に緊張をほぐす方法や、夢を諦めずに準備をすることの大切さ等が経験談を交えて語られました。

2 | メダリストによる実技披露



東京2020大会のメダリストである講師による倒立前転や側転、ロンダートからの後方倒立回転跳び（バク転）等の披露がありました。美しい姿勢で着地が決まると、児童は大きな拍手を送っていました。

3 | 実技体験



代表の児童が、マットや跳び箱、平均台を使った実技を体験しました。講師の「いいよ!」「良くなってる!」等の温かい声かけや、見学している児童の声援が体育館に響き渡りました。

4 | 夢の結晶 メダル鑑賞体験



プログラム終了後、講師が児童のお見送りをしました。児童は、講師が獲得したメダルを間近で見ると、貴重な体験を通して、目標に向かって努力を重ねることの大切さを実感している様子でした。

参加した児童の声・反応



- ・「どうしたらきれいに側転ができますか」の質問に「手を伸ばすと綺麗にできるよ」とコツを教えてもらえてよかったです。
- ・マット運動は苦手だったけれど、村上さんがすごくかっこよかったので、授業でマット運動をする時にもっと頑張ろうと思いました。
- ・習い事や勉強でも諦めないで取り組もうと思います。茉愛さんのように見る人を勇気付けることができる人になりたいです。